

＜対応事業＞

国際共同研究加速基金（帰国発展研究）

研究代表者が、交付決定後に研究分担者を追加又は削除する場合に事前に作成し、所属する研究機関を通して日本学術振興会に1部提出すること。

作成・提出にあたっては、以下について留意すること。

- ・ A4判（縦長）・両面印刷を行うこと。
- ・ 押印（または署名）をすること。研究代表者の印は、印肉を使用して押印するものとする。
- ・ 本様式の作成時に誤記入があった場合には、改めて作成すること（訂正印及び修正液等の使用は認めません。）。
- ・ 研究分担者の記入にあたり、「研究分担者」欄等に過不足がある場合は、頁や欄の数を調整すること。
- ・ 「交付申請書（様式D-2-3）」の写を1部添付すること。その他、提出時に添付すべき書類は「様式提出時 添付書類一覧（基金用）」を参照すること。
- ・ 実際の研究分担者の変更は承認後となるので、研究分担者を追加した場合の分担金の使用は承認後に行うこと。

1. 「研究代表者所属研究機関・部局・職」欄には、研究代表者が所属する研究機関名、部局名、職名を省略せずに記入すること（部局のない研究機関の場合は、部局名は不要。）。研究代表者の氏名は、記名押印又は署名により記入すること。
2. 「1 課題番号」欄には、条件付交付決定通知書に記載の課題番号（8桁）を記入すること。
3. 「2 研究課題名」欄には、「交付申請書（様式D-2-3）」に記載の研究課題名を記入すること。
4. 「3 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の「交付決定額」（研究期間全体の額）（間接経費交付決定額変更申請を行うなど交付決定額を変更した場合には、変更後の交付決定額）を記入すること。
5. 「4 補助事業期間」欄には、交付申請書に記載の補助事業期間を記入すること。なお、補助事業期間の延長が認められている場合には、延長後の補助事業期間を記入すること。
6. 「5 補助事業者及び役割分担」欄は、以下に従って記入すること（必要に応じて記入例を参照すること。）。
 - ・ 本欄には、「変更前（旧）」欄に研究分担者変更前の補助事業者について、「変更後（新）」欄に研究分担者変更後の補助事業者について記入すること。
 - ・ 「研究者番号」、「氏名」、「機関番号・部局番号・職番号」、「所属研究機関・部局・職名」欄には、研究代表者及び研究分担者の府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者情報に登録されている研究者番号（8桁）、氏名、所属する研究機関の研究機関番号・名、部局番号・名、職番号・名を省略せずに記入すること（部局のない研究機関の場合は、部局番号・名は不要。）。

なお、交付決定後、本申請書提出までに補助事業者が所属機関を変更している場合、「変更前（旧）」、「変更後（新）」欄には、変更後の研究機関名等を記入すること。
 - ・ 「役割分担」欄には、役割分担の具体的内容を記入すること。
 - ・ 「直接経費（研究者別内訳）」欄には、研究代表者及び研究分担者毎の補助事業期間を通じた直接経費の分担金（削除する研究分担者は補助事業期間を通じた支出済みの直接経費）を円単位で記入すること。
 - ・ 「変更前（旧）」、「変更後（新）」のそれぞれで、研究代表者と全ての研究分担者の直接経費（分担者別内訳）の合計が、「3 交付決定額」の「直接経費」と一致することを確認すること。
7. 「6（1） 事実発生（予定）年月日」欄には、変更する研究分担者の氏名とともに、研究分担者を削除する場合は研究分担者が退職等により研究ができなくなる年月日を、研究分担者を追加する場合は研究分担者の追加を希望する年月日を記入すること。
8. 「6（2） 研究分担者の変更が生じた理由」欄には、変更する研究分担者の氏名とともに、研

究分担者を削除する場合は、削除が必要となる研究上の理由をできる限り具体的に記入すること。なお、退職や所属機関の変更の場合には変更先（退職後、どの研究機関にも所属しない場合にはその旨記入すること）に加え、変更後の科研費応募資格の有無について記入すること。研究分担者を追加する場合は、科研費の応募資格取得や異動等の理由ではなく、研究課題を遂行する上で追加が必要となる理由をできる限り具体的に記入すること。

（研究分担者を削除する場合の例）

- ・ 平成 XX 年 XX 月 XX 日付で退職し、科研費応募資格を喪失するため（転出先：〇〇病院）。
- ・ 平成 XX 年 XX 月 XX 日付で退職し、科研費応募資格を喪失するため（転出先：なし）。
- ・ 平成 XX 年 XX 月 XX 日付で〇〇大学へ転出し、科研費応募資格は有するが、遠方のため連携が困難となるため。
- ・ 当初予定していた担当分の研究が完了したため。

（研究分担者を追加する場合の例）

- ・ 研究遂行上〇〇〇〇〇〇の調査が必要となったため。
- ・ 研究分担者から外れる予定である〇〇〇〇〇〇の行っていた〇〇の調査について、代わりに実施するため。

9. 「7（1） 研究分担者を削除しても研究計画の遂行に支障がない理由（削除の場合のみ）」欄には、変更する研究分担者の氏名とともに、研究分担者を削除する場合に次の点を網羅したうえで具体的に記入すること。

- ・ 外そうとする研究分担者の役割分担
- ・ 当該分担部分の代替手段（役割分担や研究計画の変更等）
- ・ 補助事業期間全体を通じた研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由
- ・ 削除する研究分担者の承諾の有無（研究分担者が欠けた場合は不要）

10. 「7（2） 新しく研究分担者として追加する者の適格性（追加の場合のみ）」欄には、変更する研究分担者の氏名とともに、研究分担者を追加する場合に次の点を網羅したうえで具体的に記入すること。

- ・ 追加しようとする研究分担者の役割分担
- ・ 当該分担者を追加する必要性（追加することで得られる効果、分担者としての適格性、当該研究課題との関係等）
- ・ 追加する研究分担者の承諾の有無
- ・ 追加する研究分担者が研究倫理教育の受講等を行ったことの確認の有無
- ・ 日本学術振興会の承認後から分担金を使用可能となることへの認識の有無